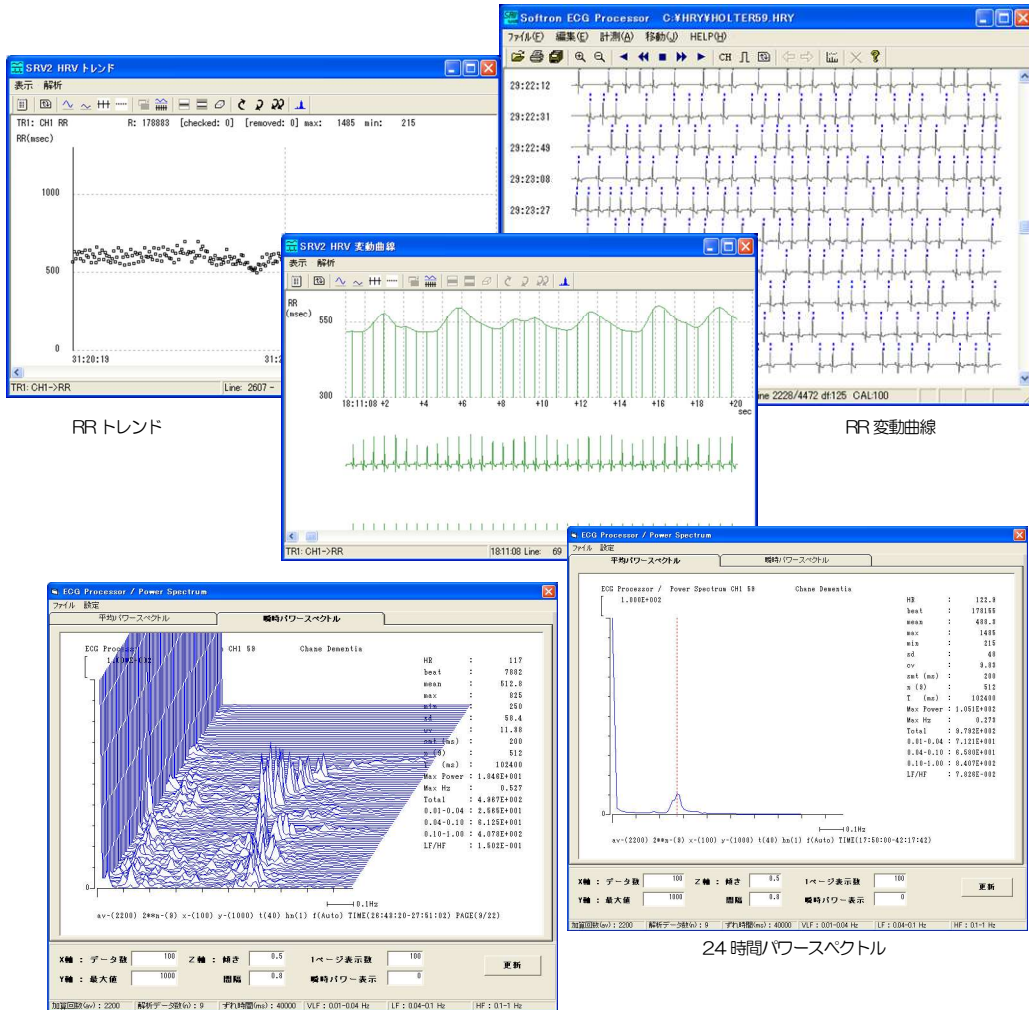


### SRV-2W (心拍変動解)

長時間連続記録した心電図波形を心拍変動解析します。  
パソコン画面にパワースペクトルを3次元表示します。

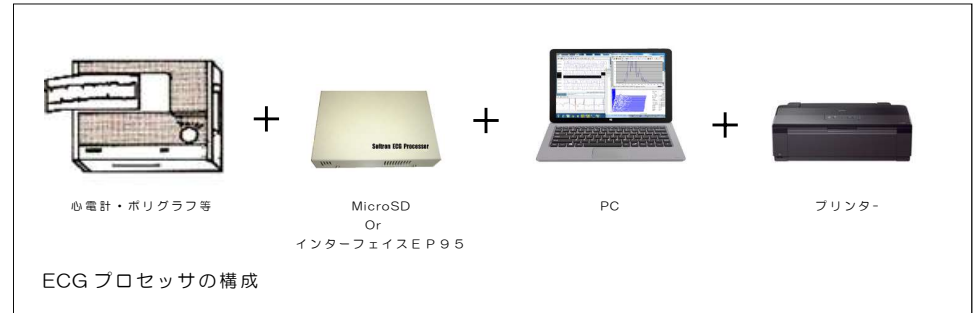


瞬時パワー鳥瞰図

24時間パワースペクトル

### ECGプロセッサSRV-2Wの特徴

1. ラット、マウスから犬、猿、・・・あらゆる動物の波形をHRV解析します。ラット、マウスでも24時間以上の心電図を連続解析します
2. R-Rと血圧、呼吸とのクロスパワー、コヒーレンス心電図と血圧、呼吸等を同時に記録し心電図R-Rとのクロスパワー、コヒーレンスが可能
3. 時間の経過を3次元表示指定された任意の区間の分析を行います。時間経過によるパワースペクトルの変化を3次元表示
4. LF、HFの帯域の設定可能動物種によるLF、HFのパワーの帯域の設定を変更可能
5. Tone-Entropy解析
6. 豊富なオプションオプションのSBP2000との組み合わせで同時に8チャンネルまで連続記録ができますECG Recorder SER-102/103で記録したMicroSDの24時間心電図を再生し解析可能ECGプロセッサ(波形計測ソフト)を使って細かい波形の解析、編集ができます



\* 波形の記録にはECGプロセッサEP95とSP2000、またはSBP2000が必要です。

#### ECGプロセッサ EP95の仕様

1. ECGプロセッサインターフェース (EP95U-2,4,8)
2. 信号入力ケーブル (2,4,8CH)
3. USBケーブル (パソコン本体とEP95を接続)
4. 入力ケーブル変換アダプター (110番プラグ)
5. 入力ケーブル変換アダプター (BNCプラグ)

通常は心電計には信号入力ケーブルの標準プラグでストレートに接続。  
ポリグラフ、データレコーダ等には、付属の変換アダプターを使用。

サンプリングアナログ入力 可変 (最大2000Hz)  
電圧 ±10V (標準)  
チャンネル数 1~8  
分解能 12Bit A/D  
電源 USBバスパワー (500mA)

#### 動作環境

Windows2000,Xp,Vista,7,8,10が動作する機種でUSBポートの付いたパソコン